

令和 8 年度 学校自己評価システムシート (県立浦和高等学校)

目指す学校像	尚文昌武の理念のもと、時代の求めるリーダーの育成を目指す。
--------	-------------------------------

重点目標	1 互いの信頼関係のもと、自走する生徒集団づくりをととして、目指す学校像の実現に取り組む。 2 生徒に、第一志望はゆずらない、との強い信念を持たせ、全ての職員が授業改善と生徒一人一人の進路実現に取り組む。 3 保護者・県民に対する情報提供をととして、開かれた学校づくりを推進するとともに、浦和高校の良さを積極的に発信する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	各年次において「守・破・離」の理念を意識した指導が行われている。 生徒が自分自身の管理(マネジメント)を行い、集団で協力・協働することにより、主体性が最大限伸びるような指導を行う必要がある。	主体性をもって自走する生徒集団づくりをとしたリーダー育成の推進	ア 1年次 学習活動・部活動・行事への参加をととして、浦高生としての主体的に取り組む姿勢を身につける。 イ 2年次 浦高生として、より一層主体的に取り組む姿勢を身につけ、HR 会長を中心に支え合い学び合う集団の形成を促す。 ウ 3年次 支え合い学び合う生徒集団を主体的に行動する生徒集団へ進化させ個々人の人間的成長へとつなげる。 エ 生徒の自主性を育みながら、目標に向かって仲間と共に全力で取り組むことで、達成感や心身の健康を育む。	ア 1年次 学習活動・部活動・行事への参加等に主体的に取り組んだという回答が75%を超える。 イ 浦高生として学校生活に主体的に取り組んだという回答が75%を超える。 ウ 3年次 卒業生アンケートで、浦高生活を通して人間的成長を感じたという回答が75%を超える。 エ 部活動アンケートで活動に満足と感じた生徒が75%を超える。		
2	以下の観点による授業改革及び教員の経験の蓄積・共有を更に推進する必要がある。 ①生徒が主体的で深く学べる学習機会の提供 ②基礎基本の早期定着と、書く力・考える力・伝える力の育成 ③生徒が主体となった行事運営と行事の精選 ④大学入学後までも見据えた授業内容の高度化 ⑤グローバル化社会を視野に入れた志の育成 併せて、多くの生徒が目指す国立大学進学を現役で表現させるための学習指導・進路指導が必要である。	(1) 主体的な学習を促す授業改善と行事の弾力的運用の推進	ア 情報活用能力育成や主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善の取り組みを実施し、教員一人一人の授業に反映させる。 イ 生徒の主体的な学習を促すための、生徒による授業評価アンケートを実施し、各教科(科目)による検討会を行い授業改善に生かす。 ウ 生徒が主体的に行事を運営し、達成感を味わえるようにする。安全に留意して行事の精選や環境整備を促す。	ア 普段から授業を互見し研究する体制を整え、自身の授業で実践を行う。 イ 授業公開及び授業評価アンケートの結果をもとに各教科で授業検討会を年2回以上実施する。 ウ 卒業生アンケートの「行事の満足度」で満足と答えた生徒が85%を超える。		
		(2) 高い志を育成し、進路実現を支援する取組の推進	ア 講演会及び高大連携事業等の充実 イ 生徒の高い志を支援し、進路実現に向けた積極的な行動や挑戦する姿勢を促すための通信を発行および企画の実施 ウ 日々の授業で培った基礎を確認し、考える力を伸ばす企画の実施、学び合い互いに高め合う集団の形成を促す行事の実施 エ 自己を見つめ将来を考えるプログラムの実施 オ 国際交流事業として実施するプログラムの内容の充実と、その成果の普及を図る。	ア 第一線で活躍されている講師を招いての講演会、大学との連携プログラム及び医師体験の実施 イ 各年次で年12号以上の進路だよりの発行、OB受験体験講話、大学見学会の実施 ウ 共通テストトライアル、入試問題研究会の実施 エ 学部・学科研修会の早期実施、キャリア教育の実施 オ 国際交流部 姉妹校ウィットギフト校春期派遣、長期留学生の受け入れ、本校からの長期派遣実施、各種プログラムの生徒への周知、および、募集・選考を実施する。		
3	HPや教育活動説明会、土曜公開授業などを通じて情報発信を行ってきた。本校の様々な取組や成果について、より積極的に情報を発信することにより、小・中学校の生徒・保護者をはじめとする県民のニーズに応える必要がある。	積極的な情報提供による開かれた学校づくりの推進	ア 全職員による組織的・計画的な広報活動の展開 イ 教育活動説明会、土曜公開授業等の広報活動の実施 ウ HPを中心とした学校情報提供の機会の積極的な活用	ア 本校の魅力効果を効果的に発信できるように企画立案し、運営する。小学生対象体験教室・中学生対象部活動体験の説明会を同日に実施する。 イ 本校主催の広報行事(教育活動説明会等)にのべ2000人以上の参加を目指す。 ウ HPのアクセス年間500万件以上、本校以外が主催する説明会への積極的な参加。HP更新頻度を上げ、本校の情報を積極的に発信する。		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		